

CASBEE-建築(新築)2016年版
府営住宅芥子谷団地(第1号棟)建設工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質							2.9
Q1 室内環境品質							3.0
1 音環境		3.0	0.15	2.8	1.00	2.8	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		3.0	0.50	2.6	0.50		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音		-	-	-	-		
2 温熱環境		1.0	0.35	2.3	1.00	2.1	
2.1 室温制御		1.0	0.71	2.1	0.71		
1 室温		1.0	0.63	1.0	0.63		
2 外皮性能		1.0	0.38	4.0	0.38		
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-		
2.2 湿度制御		1.0	0.29	3.0	0.29		
2.3 空調方式		-	-	-	-		
3 光・視環境		2.7	0.25	3.3	1.00	3.2	
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50		
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2	
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理		-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能							2.5
1 機能性		2.8	0.40	2.0	1.00	2.1	
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	2.0	0.60		
1 広さ・収納性		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00		
3 バリアフリー計画		4.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		2.6	0.30	-	-	2.6	
2.1 耐震・免震・制震・制振		2.2	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		2.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.22	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.22	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.11	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.22	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.22	-	-		
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性		3.2	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.2	1.00		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性	構造材(コンクリート)内への埋込み無し。	4.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	周囲一体が一連の開発区域の為、総合して計画を実施。	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.8
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱等性能等級4取得。	4.0	0.20		-	4.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI]([BEIm]) = 0.78	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用		4.0	0.20		-	4.0
集合住宅以外の評価						
4.1 モニタリング		4.0	1.00		-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						
4.1 モニタリング	入居時、個別に詳細説明する。	5.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制		5.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60		-	3.1
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	京都府産木材認定制度に基づく木材使用	5.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	構造体と仕上げ材に分かれており、分別が容易。	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		5.0	0.20		-	5.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない接着剤等を使用。	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		5.0	0.70		-	
1 消火剤		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン材を採用。	5.0	1.00		-	
3 冷媒		-	-		-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	断熱等性能等級4取得。	4.9	0.33		-	4.9
2 地域環境への配慮		2.6	0.33		-	2.6
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制	十分な駐車スペースと空地有り。	5.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1 騒音		3.0	0.33		-	
2 振動		3.0	0.33		-	
3 悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制		-	-		-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	